

# 教育の駅 いながわ

兵庫県川辺郡猪名川町教育委員会 発行

〒666-0292 猪名川町上野字北畑11-1 電話：072-766-6000 FAX：072-766-8904 Eメール：kyoikushinko@town.inagawa.lg.jp

## 清陵中学校が開校！

清陵中学校が開校しました。清陵中学校は旧中谷中学校区（松尾台小学校）と旧六瀬中学校区（楊津小学校、大島小学校）及び特定地域選択制により猪名川中学校区（猪名川小学校、白金小学校、つつじが丘小学校）の町内全域から生徒が通学します。生徒たちは、新たな出会いのもと学校生活をスタートしました。

清陵中学校は、「自律」（自分で考える、自分で判断する、自分から行動する）、「協働」（他者と出会うことにより多様な考えにふれる、多様な個性を尊重しあう）、「創造」（新たなもの、人を作り出す、新たな価値を創り出す、新しい解決法を考える）を校訓としています。

これからの学校は、「みんなと同じことができる生徒をつくる場所」でも、「言われたことを言われたとおりにする生徒をつくる場所」でもありません。学校は「自分をつくる場所」として生徒たちの学びを支援します。

また、令和4年度から町内全小・中学校でコミュニティ・スクールが導入されます（3面参照）。清陵中学校も「地域とともにある学校」として地域の皆様と一体となり、生徒たちが予測困難な時代を生き抜く力を身に付け、正解のない問いに挑むことができる学校を目指します。



清陵中学校は、中谷中学校、六瀬中学校の両校が培ってきた伝統や歴史を大切にしつつ、多様な価値観や文化、言語などが共存する未来社会、情報化、グローバル化がますます進展していく未来社会をたくましく生き抜いていく、そんな力が育つ学校であることをコンセプトに掲げています。

清陵中学校を象徴し、その校風を示す校章、校歌についてご紹介します。

## 〇大勢の人の思いが詰まった

### 「校章」

清陵中学校の校章デザインについては、町内外広く公募したところ、243点ものデザイン案が寄せられました。

寄せられたデザイン案については、保護者、教職員、地域の方々など、学校にかかわる方々で組織する「中学校再編準備委員会」において、校区中学校の児童生徒及びご家庭の意見を参考にしながら慎重に選考を実施し、最終3点にまで絞り込み、教育委員会にて決定しました。

デザイン作成者は奥野和夫さん（神奈川県横須賀市在住 / グラフィックデザイナー）、デザインの趣旨は、清陵中学校の「清」の意味するところの

猪名川の流れをアーチで、「陵」の意味するところの丘を半円で描いています。「中」の字は、両手を広げ未来に羽ばたく姿をあらわしています。そして、デザイン全体は頭文字「S」の形にまとめたものです。



## 〇生徒自らが創り上げた、創り上げていく「校歌」

清陵中学校校歌の歌詞は、中谷中学校、六瀬中学校、両校生徒会の役員を中心に創り上げたものです。テーマは「自律」、両校最後の卒業生が、これから清陵中学校で学ぶ後輩たちへ託す思いが込められています。今回は、校歌のうち1番のみを作詞、2番は清陵中学校の1期生に託されます。

猪名川町立清陵中学校校歌

## 「未来をここから」

作詞 中谷中学校・六瀬中学校  
清陵中学校 各生徒会

作曲 前田恵美

一、春風に萌える 若草豊か

夢と希望に満ち溢れ

北摂の山脈 大空高く

友と掲げる志

満天の星 昼も夜も輝く

一人一人の個性と個性

猪名川のみなもと 水清く

川辺に集い ともに育つ

清陵の丘に 未来を描こう

自分の色で 未来を描こう

清陵の丘から 未来を拓こう

自分の手で 未来を拓こう

## 開校にあたり

猪名川町教育長 中西 正治

再編に向けた議論のなかで、両校を閉じることへの不安や寂しさ、複雑な思いがない交ぜになった様々なお声からも、「やはり一番に、子どもの育ちを大事にしたいんだ」という大人の思いを感じてきた数年でした。

そんな思いにおこたえし、子どもたちが強く生き抜く力をつけていく学校が、新しい一歩を踏み出しました。

多くの子どもたちにとって、そして多くの保護者、地域の皆さんにとって、中学校は遠くなりました。しかし、

「こんなに人が育つなら、決して学校は遠いものではない。」

「こんなに楽しい毎日なら、決して学校は遠くない。」

「いや、遠い。遠いけど毎日行きたい。」

子どもも大人も心からそう思える、愛される学校を、生徒たちが、私たちが作っていきます。

## 教育委員 コラム

### コミュニティ・スクールの 全校導入に向けて



教育委員 田尻 紗津

一昨年度からの大島小学校、猪名川中学校、そして昨年度からの松尾台小学校に続き、いよいよ今年度から猪名川町の全小・中学校でコミュニティ・スクールが導入予定となっています。コミュニティ・スクールは、地域住民が学校運営に参画し、「地域とともにある学校づくり」を推進するものです。

しかしながら現在の社会情勢は、地域と学校どころか、保護者と学校、学校内ですらコミュニケーションの難しい状況が続きます。安全や健康を第一に考えながらも、学習意欲やメンタルケアなど環境変化の中で注意が必要な事も多岐に渡ります。

それでも、諦めて止まるのではなく、今だからこそせめて情報・連絡は密にしながらそれぞれにできることを模索し、いつ何事にも対応できるよう日頃から備えていくことが大切だと感じています。

猪名川町の教育理念「未来(あす)を描き、未来(あす)を拓く猪名川の教育」のもと、猪名川町の教育がたくさんの人の手で育まれるよう、私自身もその一人としてしっかり進めていきたいです。



### 令和4年4月から町内全小・中学校で コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)が はじまります!

令和2年4月から、大島小学校・猪名川中学校、令和3年4月から、松尾台小学校で、すでに導入されていたコミュニティ・スクールを、今年度、町内全小・中学校で導入します。コミュニティ・スクールがスタートすると、学校と保護者・地域の皆さんが、ともに知恵を出し合い、力を合わせて学校運営に取り組み、「地域とともにある学校づくり」を進めていきます。

子どもにとっては、学びや体験活動が充実し、地域の担い手としての自覚が高まります。学校にとつては、地域人材を活用した教育活動が充実し、子どもと向き合う時間の確保につながります。保護者の方にとっては、学校や地域への理解が深まり、地域の方との人間関係を築くことができます。地域の方にとっては、これまでの経験を生かすことで、生きがいや自己有用感につながり、学校を中心とした地域ネットワークを作ることができます。

コミュニティ・スクールでは、学

校と地域が、目標やビジョンを共有するために、協議や熟議を行います。

今までも協力いただいていた「地域学校協働活動」による地域ボランティアの方々も引き続き活動いただき、地域の方にとつても、地域の学校が生きがいややりがいを感じる居場所になる事を願っています。令和5年4月には、新たに2園で3年保育が始まる町立幼稚園においても、コミュニティ・スクールが始まります。今後とも地域の方々の学校園へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



熟議 (猪名川中学校 学校運営協議会)





### 【大島小】雪遊び 楽しい～♪

今年は、雪がたくさん降った大島小学校。皆でいっぱい雪遊びをしました。きれいな雪で、雪合戦、雪だるま…大満足でした！



### 【松尾台小】命の授業

1月14日(金)、5、6年生が命の授業を受けました。阪神淡路大震災で娘さんを亡くされた上野政志氏から、震災の恐ろしさ、皆で協力することの大切さ、そして何よりも一人一人の命の重さについて教えていただきました。



### 【猪名川小】「いなぼうアタック」にチャレンジ

1月21日(金)、6年生が体力向上をめざすダンス講習「いなぼうアタック」にチャレンジしました。毎年、全クラスで実施しており、皆で楽しく取り組んでいます。



### 【白金小】自分の将来を見つめよう！

1月28日(金)、4年生は作業療法士さんと一級建築士さんをお招きし、「自分の将来を見つめる」学習を行いました。仕事内容、仕事をしていて嬉しいことや大変なことを教えてもらいました。



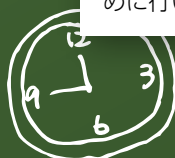
### 【楊津小】児童会行事 お店めぐり

1月28日(金)に、各学年が工夫した「お店めぐり」を実施しました。保護者の方にも、お客さんになってもらう予定でしたが、コロナの影響で児童だけの行事となりました。消毒をこまめに行い、密にならないよう注意し、お店を楽しみました。

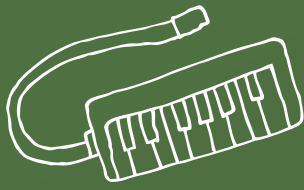


### 【つつじが丘小】給食センター リモート見学

2月2日(水)、1年生がリモートで給食センターの見学を行いました。栄養満点のおいしい給食ができていく工程を見せていただき、「わあ～!!」「おいしそう!!」と子どもたちは大興奮。その日の給食はいつも以上においしかったです。







ABC



### [猪名川幼] 運動遊びだ〜いすき！

年間を通じて運動遊びをしています。外部の先生にもリズムジャンプや集団遊び、サーキット遊び、縄跳びなど思いきり体を動かす楽しさを教えてもらっています。



### [中谷中] ハチ高原 スキー教室

1月19日(水)～21日(金)、しんしんと雪が降り積もる中、1年生がハチ高原でのスキー学校に行ってきました。壮大な雪景色を眺めながらスキーを楽しみました。



### [六瀬中] スキー学校

1月19日(水)～21日(金)の2泊3日スキー学校を行いました。昨年度は感染症の影響を受け、中止となっていた行事です。今年度は1・2年生がハチ高原に於いて仲間との時間を過ごすことができました。



### [松尾台幼] 手話、もっと知りたい！

4月からの「猪名川町手話言語条例」施行に伴い、1月から園児が手話に親しむ機会をもっています。絵本をもとに身近な動物や食べ物、あいさつを手話で表現しています。「もっと教えて！」と、知りたい気持ちが高まっています。



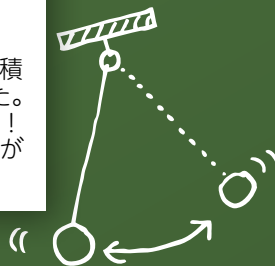
### [猪名川中] 地域の方とともに考える「いのち」の大切さ

11月26日(金)、3年生の道徳の授業に地域の方に入ってくださいました。生徒たちは地域の方の体験談を聞き、改めて命の大切さを再認識しました。授業後の振り返りで、地域の方から「子どもたちから元気もらった」と言っていただきました。



### [六瀬幼] みんなでワイワイ！雪遊び

1月14日(金)、今冬一番の雪景色。みんなで園庭に積もった雪を使って「かき氷」や「かまくら」を作りました。色とりどりの「蜜」がかかったかき氷は本当においしいそう！頑張って雪をかき集めて作ったかまくらは、何とか一人が入れる広さになりました。



# バリアフリー

やすみつ  
安光

きさと  
喜恵さん

(六瀬中学校 二年生の時の作品)



僕の祖母は、大阪市内の病院に入院していません。入院する前は祖父の家によく遊びに行きました。祖母は、もともと足が不自由で家の中では、家具や壁などを支えにして、ゆっくり、ゆっくり移動していましたが、出かける時は車いすでした。僕は、小さい頃から車いすを押すのが好きで、出かける時はいつも僕が、祖母の車いすを押す係でした。小さいころは、車いすが重くて坂道や、段差などは、祖父に手伝ってもらっていました。でも今は、僕も大きくなって力もあるのです、どんな道でも押せるようになりました。車いすで出かけるのは、大変な時もあります。車いすを押していると、いろいろなことが気になったり、気づくことがたくさんあります。

小さな段差も車いすだと、前輪を少し浮かして、乗り越えないといけない。石畳やタイヤの道は、なるべく通らないようにします。石畳やタイヤの道は車いすに振動が伝わりやすいため乗り心地が悪いです。

エレベーターは、車いすに乗っている人が圧迫感を感じないように後ろ向きに乗ります。車いすと周りの距離感にも気をつけます。

下り坂は勢いがつくので、ブレーキをうまく使わないといけません。急な下り坂は、後ろ向きで行く方が安全です。

まだまだ、車いすの移動で気をつけないといけないことはたくさんあります。普段、僕たちが出かける時、こんなにいろいろな気にして歩いているだろうか。車いすの人や、高齢者、足の不自由な人たちは、僕たち、若い世代や健康な人には何でもないことが大変なのです。小さな段差や障害物のせいで、遠回りしないといけないのです。身近に車いすを利用している人や体の不自由な人がいないと、気づかなかつたり、気にならないことがたくさんあります。

健康な人が、スーパの優先駐車場に車を停めたりしています。そのせいで、本当に必要な人たちが停められなくて、入り口から少し離れたところに停められないといけない。僕たちには少しの距離でも、体の不自由な人には大変です。みんながもう少し、やさしい気持ちを持つて行動していけたら、もっと生活しやすくなると思います。車いすや、高齢者や足の不自由な人もバリアフリーの場所が増えれば、出かけることが楽しくなると思います。みんなが思いやりの心を持つことで、みんなの人権が守られるのではないかと思います。

僕は、困っている人がいたら、迷わず、手を差し伸べる人になりたいです。

ありがとう

中谷中学校

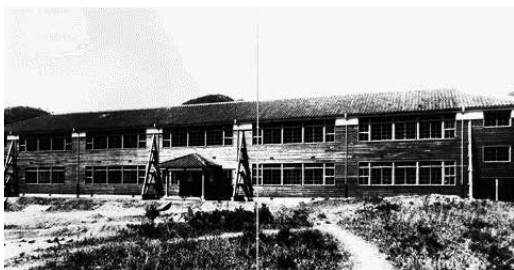
六瀬中学校

新設校の清陵中学校の開校に伴い、令和4年3月31日をもって、中谷中学校と六瀬中学校が閉校となりました。

中谷中学校は、昭和22年に現在の猪名川町役場の場所に中谷村立中谷中学校として開校。昭和56年に現在の校舎へ移転、平成2年の猪名川中学校の分離を経て、現在に至ります。

六瀬中学校は、昭和22年に六瀬村立六瀬中学校として開校。緑豊かな環境の中、地域の方との交流も盛んに行われてきました。

中谷中学校と六瀬中学校はその歴史に幕を下ろしますが、両校で75年間紡がれてきた伝統は清陵中学校へ受け継がれます。



六瀬中学校 旧校舎



中谷中学校 旧校舎



# 第20回 猪名川町展が開催されました

令和4年1月28日（金）から1月30日（日）の間、猪名川町展が開催されました。

猪名川町展は、今回で第20回を迎えたことを記念して、特別部門「映像」を設け、これまで町展を盛り上げてきた「絵画」、「立体工芸」、「書」、「写真」と合わせて5部門で作品を募集しました。

新型コロナウイルスの感染拡大で、作品制作にも多大な影響があったことと思いますが、そのような中でも142人の方がご出展され、入選・入賞した99作品が展示されました。

毎年、展示会の最終日には、表彰式と審査員の先生による講習会を実施してりましたが、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、表彰



▲特別部門「映像」視聴の様子

式は規模縮小のうえ実施し、講習会は中止とさせていただきます。

講習会については、審査員の先生から受賞作品に限って講習をいただいたので、その様子を撮影し、動画配信形式でYouTubeに公開しております。

講習動画をご覧いただくには、下記の注意事項をご確認の上、下記QRコードより動画へアクセスいただくか、「第20回猪名川町展 講習会」で検索ください。猪名川町ホームページでも動画のリンク先をご案内しております。



町長賞

◀▲入賞作品の一部



## 講習動画のご案内

映像の部	書の部	立体工芸の部	写真の部	絵画の部

- <注意事項>
- ・講習動画の転載、ダウンロード、録音、複製をお断りいたします。
  - ・動画の閲覧により通信料が発生する場合は、各自のご負担をお願いいたします。
  - ・動画に関してのお問い合わせは猪名川町 教育振興課 社会教育室までお願いいたします。

## 令和4年度 町立小・中学校、幼稚園 入学（園）式・始業（園）式 日程

	入学（園）式	始業（園）式
小学校	4月8日（金）10:00~	4月7日（木）
中学校	4月11日（月）10:00~	4月7日（木）
幼稚園	4月12日（火）10:00~	4月11日（月）

# 図書館だより



【幼稚園向け】

『わたしのあくびみなかった?』

ピョン・ユジョン 作 三辺律子 訳

(絵本塾出版)



寝る前にすること  
はすべて済ませたのに、なぜか眠れないミリー。やっていないのは大あくびだけ。あくびをなくしちゃったせいと考えたミリーは、ぬいぐるみのミロと一緒にあくびをさがしに冒険の旅にでかけます。自由の女神からスフィンクスまで世界中で聞いてまわっても、だれも彼女のあくびをみていません。とうとうミリーはロケットで宇宙までミリーと出会うみんなが気持ちよさそうに大あくびしていて、こちらもつられてしまいそうになります。おやすみ前にぴったりにかわいなおはなし。

【小学校低学年向け】  
『おてがみほしぞ』

いづみまるみづほ 作 丸山誠司 絵  
(あかね書房)

オオカミのギロンは、魚つりをしている時にヤギが手紙を配達しているのを見かけました。手紙を受けとった動物たちがみんな



な喜んでいるのを見て、自分も手紙がほしくなります。「手紙を出せば返事をもらえる」とキツネに聞いたものの、書く相手がいないギロンは、自分に向けて手紙を書くことにしました。それなのに、出した手紙は待つても待つても届きません。そこでヤギに聞いてみると…。あたたかい結末にホッとする幼年童話。はじめてのひとり読みにもおすすめです。

【小学校中学年向け】

『オンボロやしきの人形たち』

フランシス・ホジソン・バーネット 作  
尾崎愛子 訳 平澤朋子 絵 (徳間書店)



ある女の子の子ども部屋に、古い人形の家がありました。元々はおばあさんの宝物だったのですが、今では「オンボロやしき」と呼ばれ、中に住む6人の人形もぼろぼろ。女の子が新しいピカピカの人形の家を買ってもらおうと、部屋の隅に追いやられてしまいました。それでも、古い家の人形たちはどんなことでも楽しんでしまう明るい性格で、陽気に楽しく暮らしていました。ところが、そんな人形たちに更に危機が…。いつでも前向きな人形たちに励まされる温かい物語。『小公女』などで知られるバーネットの作品です。

【小学校高学年向け】

『ぼくらのスコープ』

赤羽じゅんこ 作 (講談社)



社会科見学で会った新聞記者にあこがれて、学級新聞をつくることにしたイダッチ。ところが、相棒になったのは無口で無愛想な「魔王」。スコープを見つけ「真実」を載せたいと意気込むイダッチは、冷静な魔王にいつも反対意見を出されイライラします。でも、ぶつかりあいながらも一緒に、クラスメイトの盗作問題や歩道の自転車問題などの事件取材する中で、物事には見る立場によって様々な見え方があることに気づいていくのでした。試行錯誤しながら二人が完成させた学級新聞は、巻末のお楽しみです。

【中学生向け】

『博物館の少女 怪異研究始め』

富安陽子 作 (偕成社)



明治前期、両親を亡くし大阪から東京にやってきた、古道具屋の娘イカル。親戚の少女絵師トヨと訪れた上野の博物館で、目利きの才を認められた彼女は、古蔵で怪異の研究をしている老人、トノサマの手伝いをするようになりました。その蔵で「黒手匣(くろてばこ)」という収蔵品が盗まれていたことがわかり、トノサマたちと共に奇妙な噂のあるその匣(はこ)の謎を追うことに…。まだ混沌とした近代の始まりに起こる不思議な事件の行方とともに、行動力と自分の知識で道を開いていくイカルの成長も見所です。

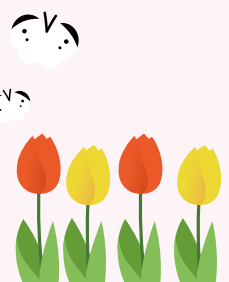
すべて図書館にあります。お問い合わせは図書館 (☎072・766・3238) まで。

※ここで紹介した本以外にもテーマ(カテゴリ)ごとのオススメ本などを、図書館ホームページ「テーマ別展示のコーナー」、ウェブ本棚「ブックログ」でも紹介しています。興味のある本探しにぜひご利用ください。

「教育の駅 いながわ」は、猪名川町の教育についての情報を広くお伝えする、教育委員会の広報誌として発行しております。これからも皆様と猪名川町の教育について、一旦停車して考える「駅」となるような広報誌を目指していきたいと思います。猪名川町ホームページよりバックナンバーもご覧いただけます。



バックナンバー  
はこちら



この広報誌は12,300部作成し一部あたりの単価は13.4円です。